

ブラジルのテメル大統領の汚職疑惑 ～政局の混乱を踏まえた財政再建の行方に注目～

2017年6月28日

お伝えしたいポイント

- ・ 収賄の容疑でテメル大統領を起訴するも、金融市場は落ち着いた動き
- ・ 最高裁による起訴の受理は回避される見込みも、政局の混乱は続く模様
- ・ 政局の混乱を踏まえた財政再建の行方に注目

<収賄の容疑でテメル大統領を起訴するも、金融市場は落ち着いた動き>

6月26日（現地、以下同様）、ブラジルの検察当局が収賄の容疑でテメル大統領を最高裁判所に起訴したと報道されました。報道によると、ブラジルの大手食肉加工会社から賄賂を受け取った嫌疑が大統領にかかっています。

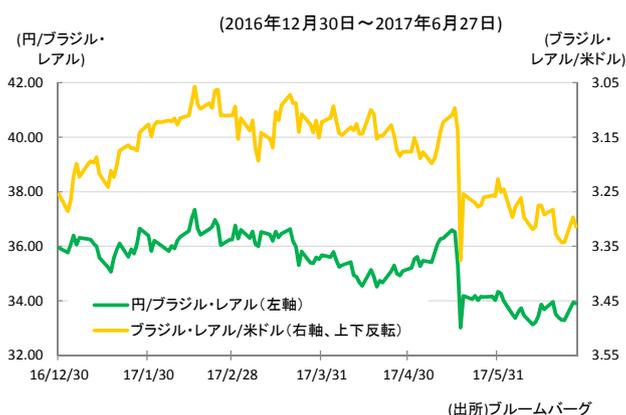
これまでもテメル大統領は汚職隠ぺいへの関与等に対して疑惑が持たれていましたが、昨年同氏が大統領に就いて以来、初めて正式に起訴されました。

テメル大統領はこれらの疑惑を一貫して否定しており、大統領職を続投する意思を示しています。

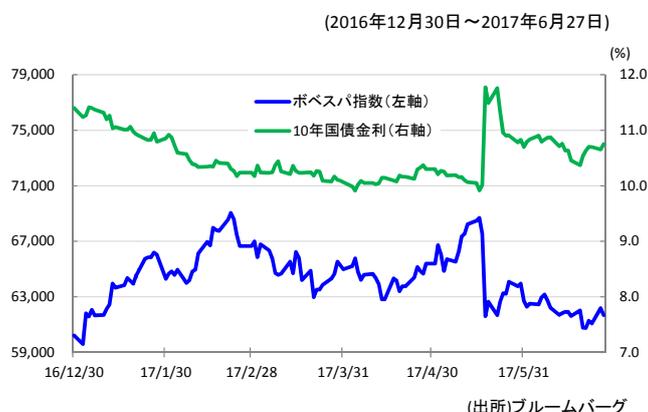
今年5月にテメル大統領の汚職隠ぺい疑惑が報じられた際には、テメル政権への不信感からブラジル金融市場は全般的に大幅に下落しましたが、その後は、為替、株式、国債はおおむね横ばいで推移しています。

今回の報道後、27日の金融市場は、5月に比べると、落ち着いた動きをみせています。ブラジル・レアルは対円ではほぼ横ばいとなり、対米ドルでは約0.6%の下落となりました。また、株式市場の代表的な指数であるボエスバ指数は約0.8%の下落、債券市場では10年国債の金利は約0.10%ポイントの上昇（価格は下落）となっています。

《為替の推移》



《国債金利および株価指数の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

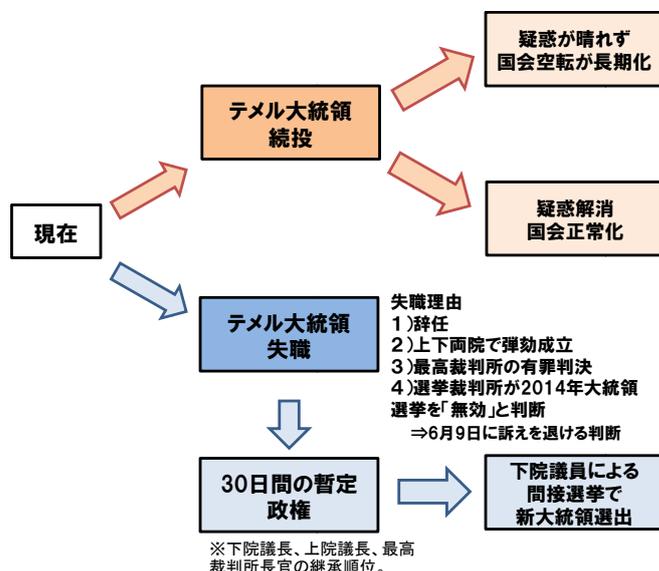
<最高裁による起訴の受理は回避される見込みも、政局の混乱は続く模様>

検察による起訴は行われたものの、最高裁が起訴を受理し、裁判を開始するには、ブラジル議会下院で3分の2の賛成が必要となっています。

連立を組む政党の中には政権離脱を検討している政党もありますが、議会下院はテメル大統領を支える連立与党が多数を占めており、最高裁による起訴の受理は回避される見込みです。

しかし、テメル大統領には複数の汚職等の嫌疑がかかっていることから、今回の収賄罪での起訴の受理が回避されたとしても、別の嫌疑で再び起訴される可能性は高く、政局の混乱は続きそうです。混乱が続く中、低迷しているテメル大統領の支持率の回復は難しいと考えられます。

《想定される今後の政局シナリオ》



(出所) ブラジル憲法、各種報道より、大和投資信託作成

<政局の混乱を踏まえた財政再建の行方に注目>

ブラジルの今後を見る上で、テメル大統領の進退問題よりも、社会保障改革法が成立するかどうかの方が重要だと考えています。

ただし、今回のテメル大統領の起訴を受けて、連立政権内部の政党が政権を離脱する動きが強まる恐れや、社会保障改革法案の内容が後退する懸念などもあり、こうした政局の動きも含めて、今後の財政再建の行方を注視していく必要があると考えています。

政府や議会が社会保障改革などの構造改革を着々と進める場合は、ブラジル経済に対する信認改善が景気回復につながり、ブラジル・レアルの下支えになると期待されます。

以上

《大統領が起訴された後の流れ》



(出所) ブラジル憲法、各種報道より、大和投資信託作成

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

下記のリサーチでは、直近のブラジルに関するテーマやその背景などをお伝えしています。

◇マーケットレター

- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑続報 ～その3～(2017/6/13)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170613_1.html
- ・ブラジルの政策金利引き下げについて(2017/6/1)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170606_1.html
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑続報 ～その2～(2017/5/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170526_1.html
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑の続報(2017/5/22)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170522_1.html
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑と今後の注目点(2017/5/19)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170519_1.html
- ・ブラジルの政策金利引き下げと金融市場見通しについて(2017/4/13)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170414_3.html
- ・ブラジルが政策金利を0.75%ポイント引き下げ(2017/2/24)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170224_1.html
- ・ブラジルが政策金利を0.75%ポイント引き下げ(2017/1/12)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170112_1.html

◇動画

- ・ブラジルマクロ経済～構造改革と利下げで経済環境見通しが改善するブラジル経済～(2017/1/16)
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov13.html>
- ・ブラジル債券市場～良好な投資環境が続くブラジル債券投資～(2017/1/16)
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov14.html>
- ・ブラジル株式市場～新政権による改革～(2017/1/13)
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov11.html>

◇Weekly Report

- ・ブラジルの金融市場動向(毎週更新)
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=6>

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会